

平成26年度 愛媛大学工学部環境建設工学科 卒業論文発表プログラム(Ⅰ)

日時:平成27年2月23日(月) 8:30~17:50

場所:愛媛大学工学部 EL23講義室(講義棟、2F)

(第1会場・EL23講義室)

(発表時間:6分、質疑応答:4分)

発表時間	氏名	論文題目
8:30~8:40	岸岡 大樹	無指向性アンテナを用いた電磁波レーダイメーキング法に関する基礎研究
8:40~8:50	加藤 慶之	東北地方太平洋沖地震津波発生時の水位データ解析に基づく紀伊水道・大阪湾内の固有モード特定の試み
8:50~9:00	岩野 涼	実測日射量と衛星日射量を用いた松山平野の日射量分布に関する研究
9:00~9:10	森田 晃	画像解析とニューラルネットワークによる耐候性鋼材の損傷評価
9:10~9:20	三澤 博允	新設PCコンクリート橋梁の建設過程における固有振動数の変化とそのメカニズム
9:20~9:30	高市 茂	養生条件および材齢の相違が塩化物イオンの電気泳動特性に及ぼす影響
9:30~9:40	肥越 順治	地下水人工涵養による地下熱貯留の数値シミュレーション
9:40~9:50	金山 慎吾	脇川におけるハイドロリアア水制の適用性に関する研究
9:50~10:00	門田 圭輔	湾口防波堤の開閉部形状による津波高さの低減効果に関する研究
10:00~10:10	三好 亮輔	重信川河口部の植生群が及ぼす河道への影響に関する研究
10:10~10:20	休憩	
10:20~10:30	齋藤 中	MEMS加速度センサを用いた振動計測へのカルマンフィルタの適用に関する検討
10:30~10:40	安野 雄祐	河川堤防の地震被害の有無と振動特性の関係
10:40~10:50	門屋 朱里	養生条件の違いがフライアッシュコンクリートの中性化に及ぼす影響
10:50~11:00	井後 敦史	様々なアスファルト舗装で適用可能な画像解析によるひび割れ検出
11:00~11:10	楠 千裕	植生型水制工を活用した河道制御法に関する研究
11:10~11:20	河原 一喜	宇和海沿岸域における海水交換と赤潮に関する研究
11:20~11:30	村上 賢晃	コンクリート供試体の境界条件を考慮した透気係数-含水率の関係に関する考察
11:30~11:40	森 陽	ハンマー打撃振動測定による既存コンクリート橋梁の損傷評価法の事例検証
11:40~11:50	袖根 大輔	風車回転数の測定および回転数推定アルゴリズムの検証
11:50~12:00	東島 曜	地震対策用水槽内における流動特性に関する研究
12:00~13:00	休憩	
13:00~13:10	山田 桃太郎	温暖化に伴う豊後水道の藻場変化に関する研究
13:10~13:20	西村 沙希	コンクリートの材料分離が配置高さの異なる水平鉄筋の耐久性に及ぼす影響
13:20~13:30	熊岡 幸司	ニューラルネットワークによるI型鋼の損傷同定
13:30~13:40	西村 尚高	高密度微動観測による小平野・小盆地のゆれやすさマップの作成
13:40~13:50	山本 沙也	バイオグラウトの炭酸カルシウム析出時間に影響を及ぼす要因の検討
13:50~14:00	高見 恭平	データ同化手法を用いた気象モデルの精度向上に関する基礎的研究
14:00~14:10	村田 佑介	二重遊水室型低反射護岸による波エネルギーの取得に関する研究
14:10~14:20	宮尾 渉	日射量の直散分離に関する検討及び新しい直散分離手法の提案
14:20~14:30	仲井 一平	骨材種類に起因する乾燥収縮量の違いがRC梁供試体の鉄筋腐食性状に及ぼす影響の検討
14:30~14:40	鎌倉 佳大	周防大島2海岸におけるマイクロプラスチックの空間分布とサイズ特性の把握
14:40~14:50	休憩	
14:50~15:00	笹方 裕平	太陽光パネルの日射センサーとしての利用可能性に関する研究
15:00~15:10	岡田 辰夫	電気抵抗率測定を用いた鉄筋コンクリート内部劣化の定量化に関する基礎的研究
15:10~15:20	馬場 崇弘	津波シミュレーションを用いた大阪湾における津波・副振動エネルギーの減衰過程に関する研究
15:20~15:30	泉 英輝	超音波アレイ探傷のためのFSAP方式の性能評価に関する検討
15:30~15:40	平岡 拓也	メソスケール構造に起因するコンクリート中の超音波伝播特性の変化とその考察
15:40~15:50	田口 由梨絵	四万十川下流域における土砂移動特性に及ぼす水制構造物の影響に関する実験的研究
15:50~16:00	石水 貴久	トラス部材の損傷同定手法の数値的検討
16:00~16:10	手嶋 唯	豊後水道の急潮が地域の気象に及ぼす影響に関する研究
16:10~16:20	妙木 聡介	周防大島2海岸におけるカキ養殖パイプの移動特性と滞留時間予測
16:20~16:30	休憩	
16:30~16:40	星田 元気	画像解析による脇川砂州堆積部における粒度分布に関する研究
16:40~16:50	矢野 竜太郎	瀬戸内海におけるTaylor図を用いた波浪推算精度の検証に関する研究
16:50~17:00	AISYAH BINTI ZABRI	粒子フィルタを用いた構造パラメータの同定に関する基礎的研究
17:00~17:10	佐藤 業大	黒潮フロント渦に伴う東シナ海黒潮域の低次生態系変動
17:10~17:20	秋山 大誠	腐食したフランジの残存圧縮挙動に関する研究
17:20~17:30	西村 哲	1961~2005年の推算資料を用いた大阪湾播磨灘における確率高潮偏差の推定
17:30~17:40	藤田 遼	日射量の時間変動を利用した雲の分類に関する研究
17:40~17:50	板岡 恭平	地震災害に関する主観・客観リスクと対策行動の関係
18:45~	判定会議 (環境建設工学科会議室 2号館2階 214号室)	

平成26年度 愛媛大学工学部環境建設工学科 卒業論文発表プログラム(Ⅱ)

日時:平成27年2月23日(月) 8:30~17:50

場所:愛媛大学工学部 EL24講義室(講義棟、2F)

(第2会場・EL24講義室)

(発表時間:6分、質疑応答:4分)

発表時間	氏名	論文題目
8:30~8:40	行本 崇人	産業集積の構造変化と社会基盤整備の関連性 -今治市造船業をケーススタディとして-
8:40~8:50	藤井 浩史	A research on traffic flow monitoring method using a Bluetooth Communication System
8:50~9:00	坪田 沙希	GISを用いた地震時ため池の決壊リスク評価および簡易汎濫解析
9:00~9:10	河合 玲奈	松山市立垣生小学校を対象とした防災教育に関する研究
9:10~9:20	緒方 奨	熱・水・応力・化学連成解析モデルによる天然バリアの長期透水特性評価
9:20~9:30	木村 涼乃	交通税制・料金政策に対する受容意識構造の分析
9:30~9:40	青山 恒佳	内省機会の提供が保護価値の変容に及ぼす影響に関する研究
9:40~9:50	菅野 巧	プロバント処理した岩盤亀裂の室内透水実験
9:50~10:00	後藤 友亮	水生昆虫カワゲラ群集のゲノムワイド発現解析に基づく日本の気候勾配に適応的な遺伝子の検索
10:00~10:10	尾崎 智洋	自己組織化マップを用いた乱流解析手法の研究
10:10~10:20	休憩	
10:20~10:30	今西 桃子	地区防災計画のための津波避難シミュレータの活用に関する基礎的研究
10:30~10:40	細見 茜	愛媛県西条市における高齢者のモビリティ分析
10:40~10:50	政木 春那	次世代DNAシーケンシング解析に基づくイタリアアルプスの河川底生動物群集の種多様性評価
10:50~11:00	野田 謙次	火災延焼シミュレーションを用いた緑地の防災効果に関する研究
11:00~11:10	福本 大介	プローブデータを活用した車両走行挙動と事故リスクの関係分析
11:10~11:20	中田 直樹	製紙スラッジ焼却灰の地盤改良材としての適用性と性能評価
11:20~11:30	長谷部 敦哉	風景に内蔵するまちの音と地域愛着との関連性
11:30~11:40	牧野 太亮	鎮守の森に関する住民参加型・回覧型「思い出マップ」づくりとシンビックプライドの醸成
11:40~11:50	島田 亮	地化学作用による花崗岩不連続面形状変化の計測と評価
11:50~12:00	FATHIN NADHIRAH BINTI AB RAHIM	間欠河川における底生動物の種多様性の流程分布
12:00~13:00	休憩	
13:00~13:10	山本 篤志	生活道路における交通事故リスクに関する研究
13:10~13:20	谷口 貴洋	南海トラフ巨大地震を想定した津波避難シミュレータの開発と適用に関する研究
13:20~13:30	森本 彩夏	河川性底生動物の干上がり避難場所の解明
13:30~13:40	茅野 泰雄	高速道路における休憩施設選択行動に関する研究
13:40~13:50	大西 優太	GISを用いたマニラの土地利用特性に基づくデングリスク評価モデルの開発
13:50~14:00	渡邊 翔太	地盤の不飽和化による地中構造物の浮き上がり対策効果に関する研究
14:00~14:10	柳原 捷吾	環境配慮行動の促進に向けた心理的コミュニケーション施策の効果に関する実験研究
14:10~14:20	酒井 啓太	粘性土の残留状態におけるせん断クリーブ破壊モデルと破壊予測
14:20~14:30	丹生谷 尚宏	情動的メッセージによるこころのバリアフリーの態度・行動変容に関する研究
14:30~14:40	西村 颯	高温条件下における持続載荷透水試験による岩石不連続面の変形
14:40~14:50	休憩	
14:50~15:00	尾崎 誠	地域愛着と文化資本が市民活動の持続可能性に及ぼす影響に関する研究
15:00~15:10	松本 卓	生物多様性保全へのプロテオームアプローチ:水生昆虫カワゲラ群集の日本の気候勾配に沿った適応進化の解明
15:10~15:20	片山 直道	リングせん断試験による粘性土の通電時の強度特性
15:20~15:30	岡田 裕成	攪乱レジームに基づく日本全国の河川の分類
15:30~15:40	石中 亮	気液二相流を考慮した岩盤空洞周辺のガス移行解析
15:40~15:50	小阪 佳平	不飽和状態で炭酸カルシウムを析出させた砂の液状化強度特性
15:50~16:00	谷角 真也	伊方原子力発電所における広域避難計画に関する考察
16:00~16:10	澤井 友貴	待ち行列理論を用いた救急救命搬送サービス評価に関する研究
16:10~16:20	大石 琢也	内海本土近接型離島における空間印象評価構造に関する研究 -松山市興居島をケーススタディとして-
16:20~16:30	休憩	
16:30~16:40	木村 龍太	無機材料を用いた薬液注入材の開発と地盤改良効果の検討
16:40~16:50	伊藤 公孝	外水の浸透による微小な堤体表面変位と内部状態の関係に関する実験的研究
16:50~17:00	藤田 直丈	陽イオン濃度調節水溶液を用いた地すべり粘土の強度・鉱物特性
17:00~17:10	松田 健右	一般道における交通事故発生リスク要因分析
17:10~17:20	吉見 隆宏	災害想定に関わる認知バイアスとその緩和策に関する研究
17:20~17:30	福田 裕気	砂地盤の液状化特性に及ぼす加振中の体積ひずみの影響
17:30~17:40	大山 貴志	ドライバーの交通事故リスクに対する認知状況の分析
17:40~17:50	井出 皓介	松山市を対象としたドクターカーの運用計画と評価に関する研究
18:45~	判定会議 (環境建設工学科会議室 2号館2階 214号室)	